

# 2040年頃の社会構造の変化

令和元年10月9日

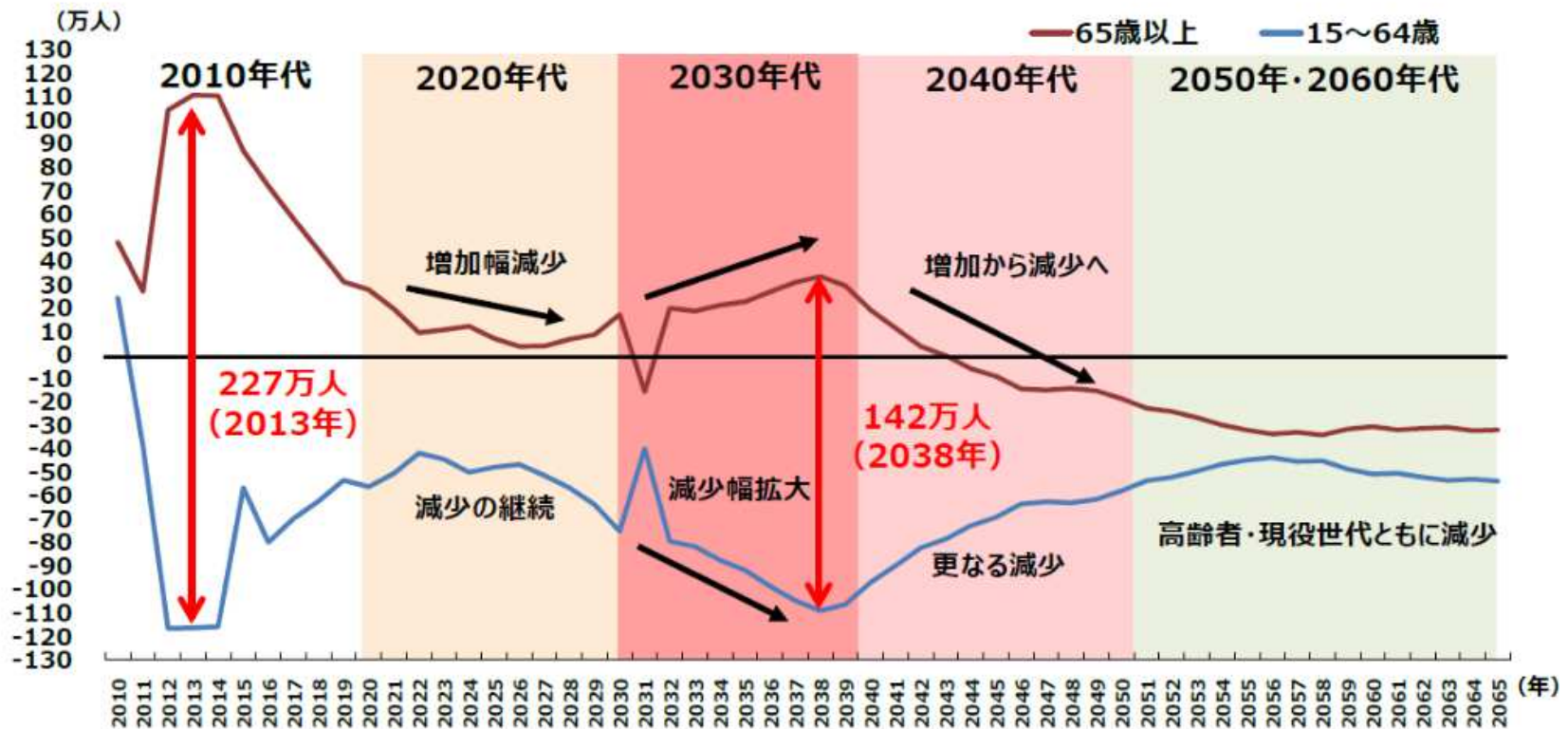
山梨県

# 人口の減少

- 2030年代の現役世代の減少が加速。
- 2040年頃は、高齢者は増加から減少に転じ、現役世代は更なる減少で推移する見通し。

## 高齢者と現役世代の推移予測

- 今後、高齢者の増加幅は落ち着くものの、現役世代の減少が加速。



(出所) 総務省「人口推計」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成29年4月推計）」（出生率中位・死亡率中位）

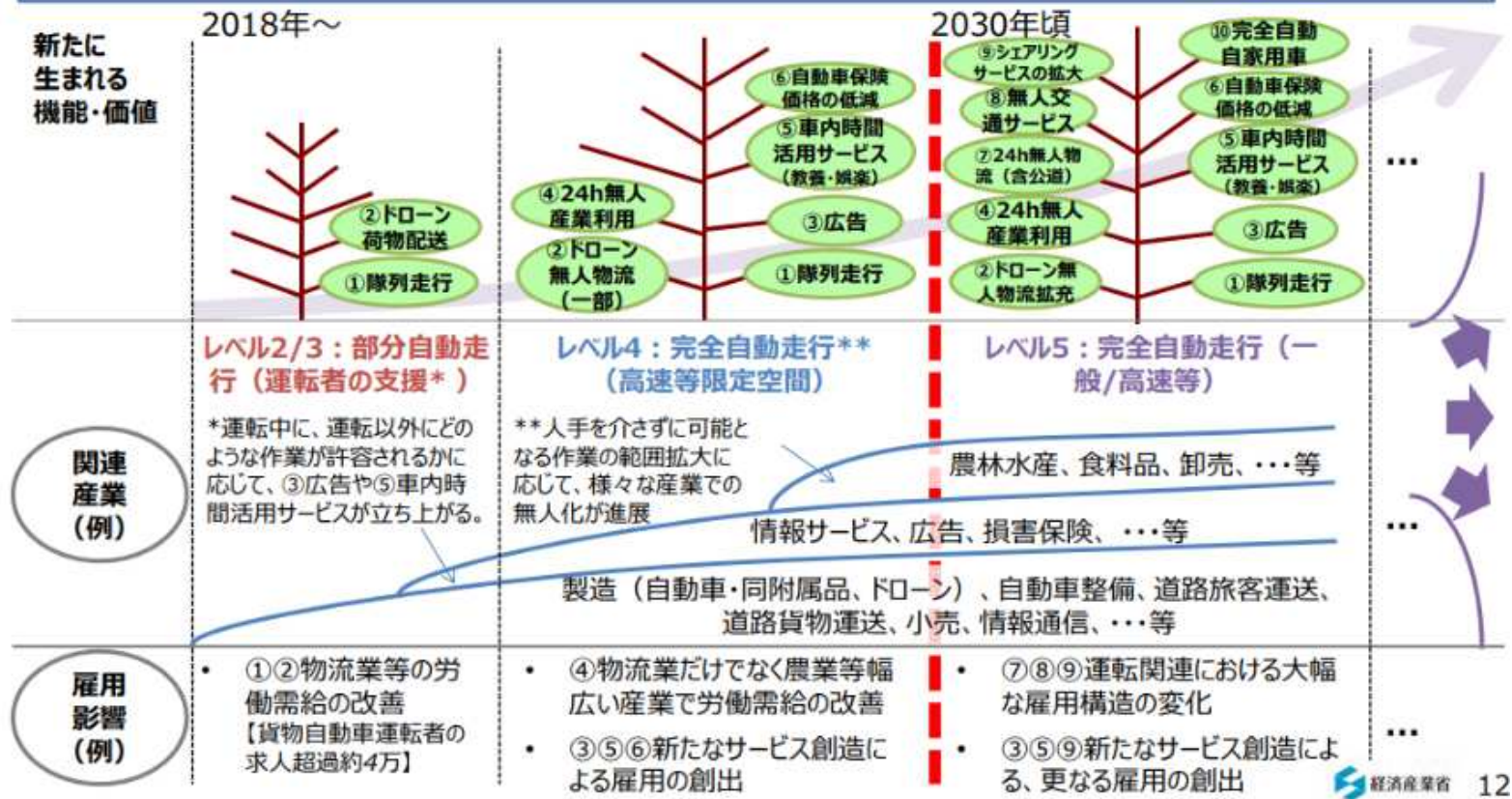
出典：経済産業省「産業構造審議会2050経済社会構造部会」（H30.9）

# 産業の広がり と 雇用影響

○社会ニーズに対応した産業群の広がり と 雇用影響への見通しが示されている。

## 社会ニーズに対応する産業群の広がり と 雇用影響

- 社会ニーズに対応する新たなバリューチェーン・産業群が次々と出現する可能性。
- 例えば、自動走行技術やドローン技術の進展を軸に、新たな製品・サービスが生まれ、様々な産業・雇用に影響を与えていく。



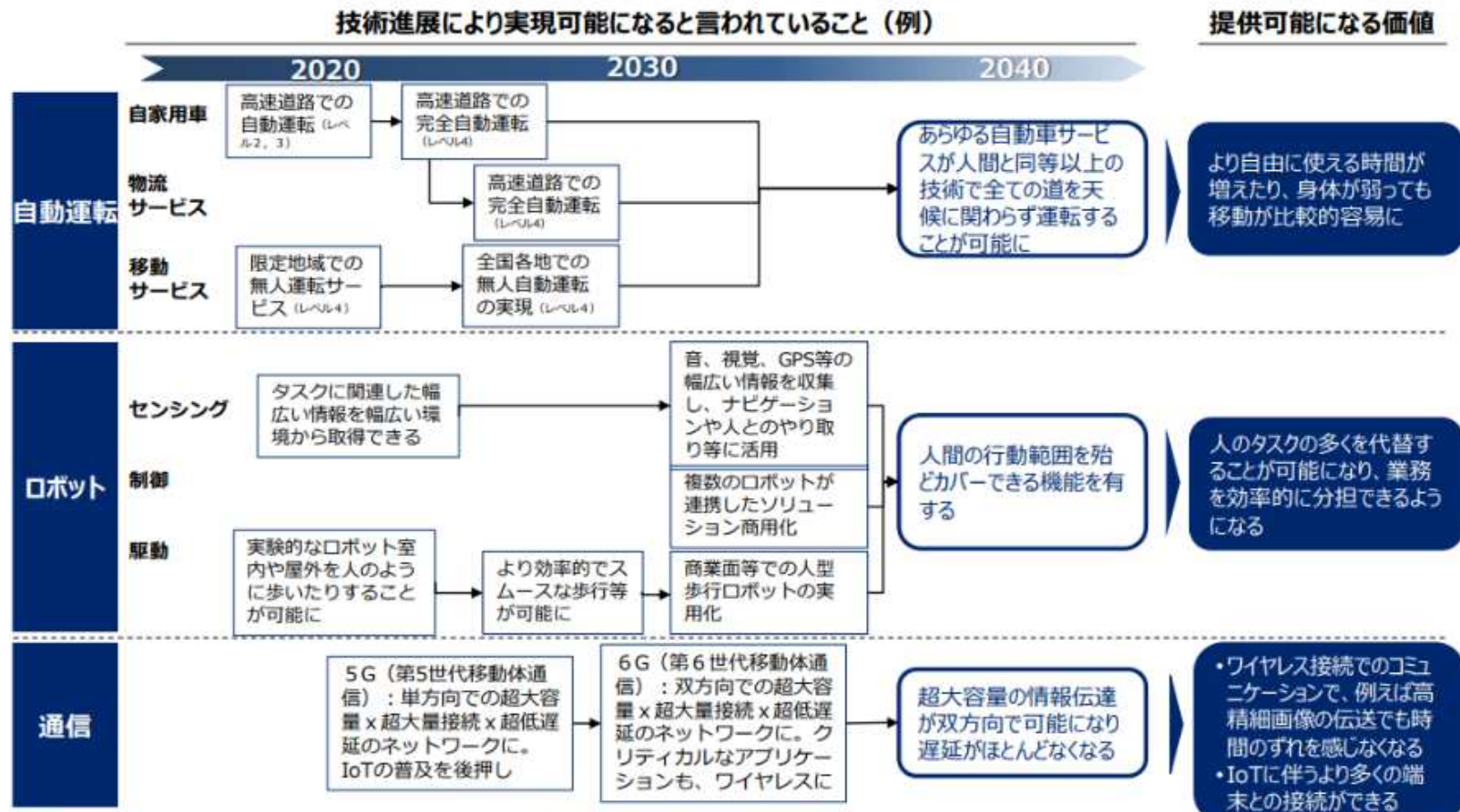
出典：経済産業省「新産業構造ビジョン」(H29.5.30)

# 技術の進展

○2040年にかけて見込まれる技術の進展が示されている。（自動運転、ロボット、通信）

## 2040年にかけて見込まれる技術の進展（基盤技術）

- ロボット、自動運転等の基盤技術は、2040年に向けて進化していくと考えられる



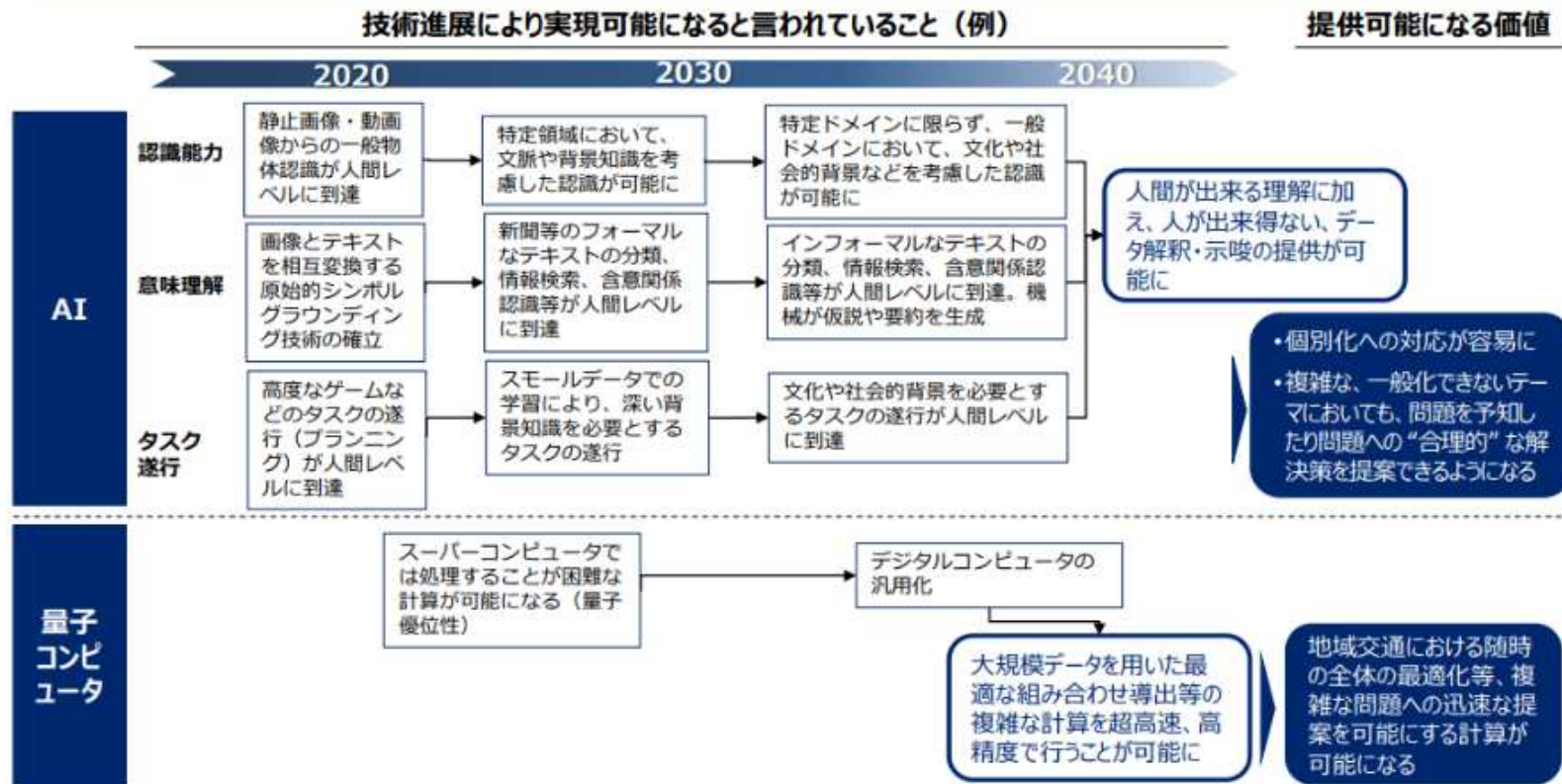
出所：Computer Research Association "A Roadmap for US Robotics - From Internet to Robotics", 官民ITS構想ロードマップ、経済省資料より作成  
 出典：未来イノベーションWG「未来イノベーションWGからのメッセージ」（2019.3）

# 技術の進展

○2040年にかけて見込まれる技術の進展が示されている。(AI、量子コンピューター)

## 2040年にかけて見込まれる技術の進展（基盤技術）

- AI、量子コンピューター等の基盤技術は、2040年に向けて進化していくと考えられる



出所：NEDO「次世代人工知能技術社会実装ビジョン」、文部科学省「量子科学技術（光・量子技術）の新たな推進方策概要」を基に作成  
 出典：未来イノベーションWG「未来イノベーションWGからのメッセージ」（2019.3）

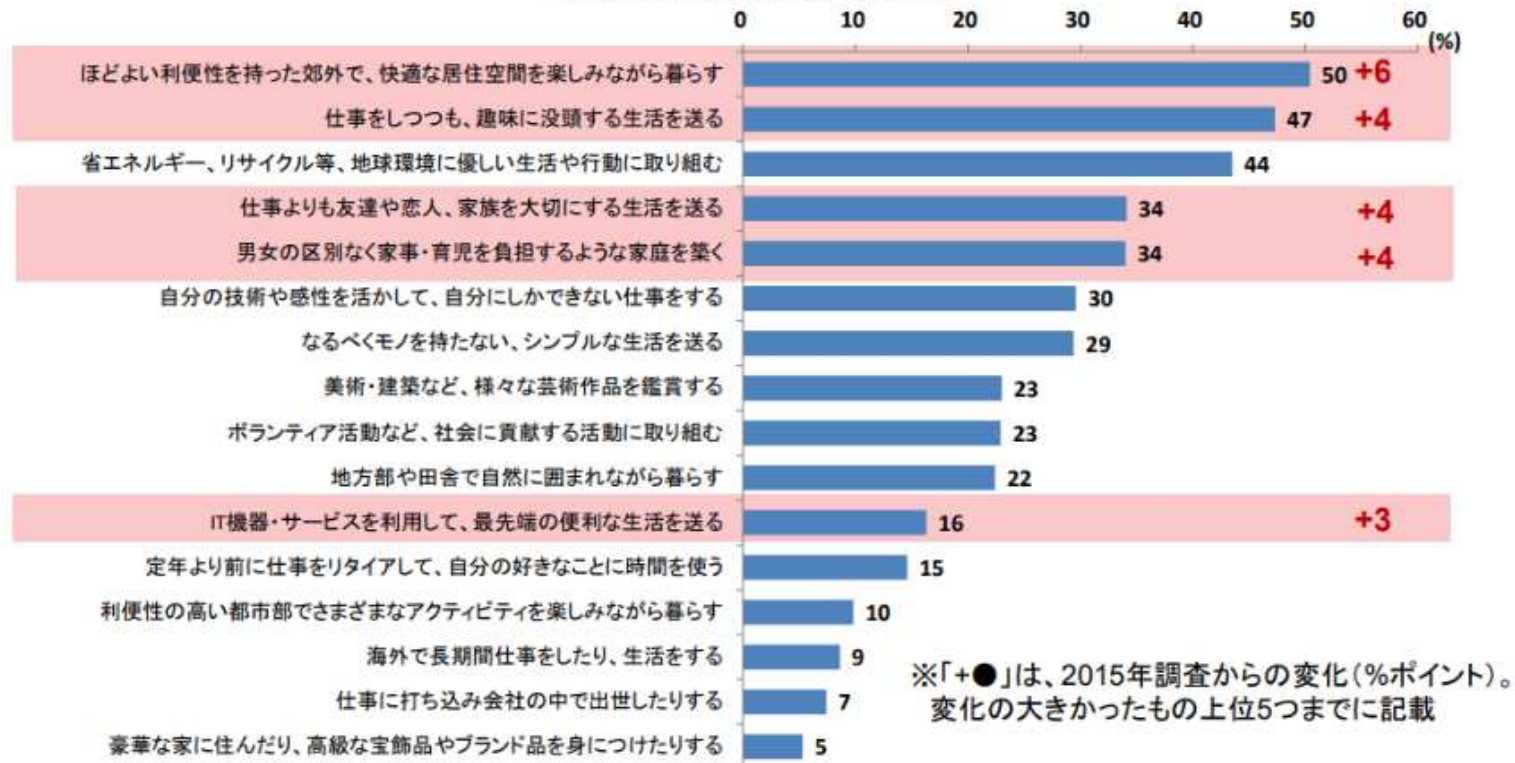
# 生活価値観の傾向

○生活価値観として、「ほどよい利便性をもった郊外で、快適な空間を楽しみながら暮らす」の変化が大きい。（2015年⇒2018年）

1.景況感・生活価値観・生活不安 3)生活不安・生活満足度 -理想の暮らし-

**快適な居住空間や仕事と趣味の両立、プライベートの充実など、働き方改革が提唱するライフスタイルへの共感が強く、直近でも大きく伸長**

理想の暮らし(複数回答)



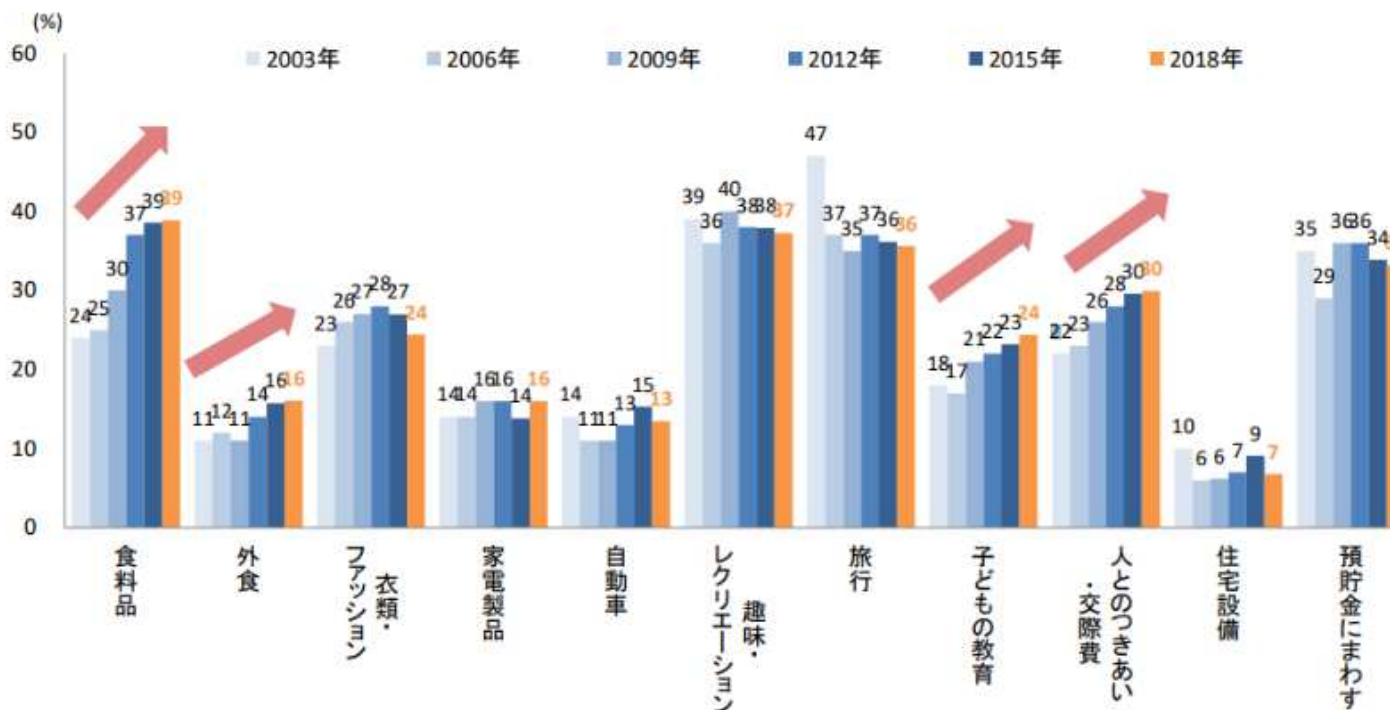
# 余暇・消費生活の傾向

○積極的にお金を使いたい費目では、「趣味・レクリエーション」「旅行」が高く、食にまつわる消費や「子どもの教育」「人とのつきあい・交際費」の消費が伸びている傾向がみられる。

## 2. 余暇・消費生活 1) 消費を拡大したい分野と余暇活動の動向

「趣味・レクリエーション」と「旅行」が高水準で安定。伸びているのは「食料品」「外食」などの食にまつわる消費や「人とのつきあい・交際費」など、日々の生活の中での消費

積極的にお金を使いたい費目の推移(複数回答)



※旅行については2015年以降は「国内旅行」「海外旅行」のいずれか1つを回答した人を対象としている

# 消費意識・消費スタイルの傾向

○「所有から使用へ」の意識は高まっているが、近年は頭打ちの傾向。

## 3. 消費意識・消費スタイル 2) その他の消費意識の変化「所有から使用へ」

こだわりのないものは買わずに借りて済ませてもよいとする「所有から使用へ」の意識の変化は、2018年で頭打ち傾向に

**問** A. レンタルやリース(お金を出してものを借りること)を使うことに抵抗はない  
 B. 自分の使うものは、なるべく買って自分のものにしたい(レンタルやリースは使いたくない)

Aに近いと回答する割合

